

2020年12月10日

発行責任：W.Co 基金委員会

委員長：小林 麻利子



新型コロナウイルスの一日の感染者数が増え続けこれからの冬場は大丈夫だろうかと心配です。

第1回目は2団体が助成を受けました。2回目も11月2日に締め切れ、3団体の申請がありました。他のW.Coでもコロナ感染症の影響で事業の継続が厳しくなっているところもあるのではないのでしょうか。申請は締め切られましたが、運営で困ったときはまずは連合会に相談してみてください。

W.Co 基金はワーカーズがワーカーズを金銭支援していく互助のしくみです。2019年からグッズ販売がなくなり、皆様からの寄付のみで運営されています。団体からの寄付や個人の寄付をお願いしています。

W.Co 連合会の部門会議やリーダー会議に代表して出席している方はご自分の組織に戻られたら、このしくみを全員の方に知っていただくよう伝えてください。W.Co 基金箱を置くなどして寄付を募るのはいかがでしょうか。そして一人でも多くの方のご協力をいただくようよろしくお願いいたします。

W.Co 基金は W.Co の活動を継続していくために必要な
金銭支援を行う互助の仕組みです。

今年度は新規助成の他に 2 回に分けてコロナ禍で事業的にきびしい
W.Co の助成申請（上限 20 万円）を受け付けました。

運営で困ったときはまずは連合会にご相談ください。

食部門 W.Co レストラン We
からの報告です！



いったんは終息に向かうかと思ったコロナウイルスの影響は、冬に向かって予想以上の速さで拡大しています。そんな中先般、人格なき社団のため、コロナ禍を乗り越える一助となるべき持続化給付金を受けられなかったレストラン We に対して、多くの W.Co の浄財である基金の対象として選んで頂けたことに心よりの感謝を申し上げます。

営業の自粛を求められた春先から夏にかけての日々に比べると、少しずつですが、店があるオルタナティブ生活館での会議や会合が増えて来て、客足に良い変化が感じられていました。この間減少した客数に合わせて店の運営も通常 4 人で切り盛りしていたのを、2 人に減らすことで、本来ならばやりたくは無かった人件費の削減を営業存続の切り札として実施して来ましたが、また不発に終わってしまいました。スタッフが働く時間を少しでも増やせないかと、出前館と提携してテイクアウトへの挑戦も試みました。

今回頂いた基金は当初食材の仕入れ等の運転資金に使わせて頂くことを目的としておりましたが、再び猛威を振るい始めたコロナに対応すべく、まずは必要と思われる対策グッズの購入から進めて行きたいと思っています。

困難な状況ではありますが、生活クラブの組合員を始め、今はリモートワーク等で少なくはなっていますが、レストラン We を応援してくれる近隣の方々の為にも、そして生きがいをもって働ける場所としての店を存続させていく自分たちのためにも W.Co 基金を無駄にすることなく、頑張っていきたいと改めて決心を固めています。

「禍福は^{あざな} 糾^{あざな}える縄の如し」苦しい時にはいつも良い時を待ちながら、良い時も次の困難を自覚しながら暮らしてきましたが、今は必ず来る良い時を、今できることをしながら焦らず待つことにし、次にやってくる飛躍の日を待ちながら、日々研鑽を積んでいきます。多くの方に支えられながら、レストラン We とともに頑張っ^て生きていきます。

レストラン We 茂木秋代

W.Co 基金振替口座番号：ゆうちょ銀行 00270-5 94335

加入者名： 神奈川ワーカーズコレクティブ連合会